日日新
每日新，日日新，又日新

南アルプス市立小中一貫校八田小中学校
南アルプス市立八田中学校

八田中通信

文責・発行　小林　紀浩

令和８年度
第４号
１０月６日号

◎第３７回秋桜祭　「彩風共舞～咲き誇れ 今、この瞬間を～」

１学期から生徒会執行部を中心に全校生徒が一生懸命取り組んできた秋桜祭が９月 19 日（土）・20 日（日）に実施されました。伝統の全校応援、気持ちを一つに挑んだ体育の部、学年全員で創った演劇。どれも、八田中生らしい全力疾走で、見ている私たちに大きな感動を与えてくれました。ご参加いただいた保護者や地域の皆様へ、生徒の成長の姿をご覧いただけたのではないでしょうか。取組期間から当日を通して、普段の学校生活では得られない、かけがえのない多くの学びがあり、一人一人、そして全校生徒が大きく成長したこの秋桜祭が、次なる新たな成長につながっていくことを期待しています。

想いをつなぐ全校応援

八田中伝統の系列応援・全校応援ですが、今の２年生から制服をブレザーにしたことで、これまでのように３年生女子の学ランを下級生から借りることができず、ピンチを迎えました。そんな中、生徒作成の「学ラン大募集」のチラシを地域に配り、地域の皆様の善意でなんとかそろえた学ラン。





地域の温かい想いも一緒に、当日はまさに全身全霊の応援が響き渡りました。この日のために、３年生を中心に、学園祭の取組期間の中で一番時間をかけて練習してきた魂の応援。この先も、多くの人の思いと共に引き継いでいきたいです。

絆を深めた体育の部

台風の影響で、日程を入れ替え、19 日に行われた体育の部。清々しい天気の中、勝利を目指して仲間と共に全力で駆け抜ける姿が輝いていました。クラスや系列で何度も円陣を組んで、心を一つにし、全力で取り組む姿、全力で喜び合い、全力で悔しがる姿、そしてみんなで思い切り楽しむ姿がとてもさわやかでした。練習から本番まで、どんどん深まっていったクラスや学年の絆を、これからの学校生活につなげていくことで、さらに集団の力を高めていってほしいと思います。





当日、生徒の頑張りに声援をいただいた多くの保護者や地域の皆様、本当にありがとうございました。

みんなで創った学年劇

20日にカナリアホールで行われた文化の部。多くの観客を前に演じるのは、大きな緊張があったと思いますが、1年生から3年生まで、どの学年も練習の成果を生かして本番で最高の演劇を披露することができました。キャストの演技力、それを輝かせる大道具や小道具、衣装、音響、照明。どの学年も、みんなで協力して創った学年劇は、見ている人たちにおおきな感動を与えてくれました。

◇1年生『人形館』



初めての演劇、しかも1番手ということで、大きな緊張があったと思いますが、それを感じさせない堂々とした演技に驚かされました。1年生らしい初々しさが人形たちの元気で個性的なやり取りとぴったり合って、夢中で見入ってしまいました。来年のさらに成長した1年生の劇を見るのが今から楽しみです。

◇2年生『グッドバイマイ』



2年生のグッドバイマイは、キャストの演技力の高さに、最初から劇の世界に引き込まれてしまいました。演じている人の心の葛藤が、見ている側に全部伝わってくるようで、思わず感情移入し、最後に大きな感動をもらいました。こらから八田中の顔になる2年生の底力を感じ本当に頼もしくなりました。

◇3年生『ヒロシマ』



最後の学園祭、最後の演劇にかける全員の熱い思いが伝わってきました。圧倒的な演技力に鳥肌が立ち、時間を忘れて見入ってしまいました。修学旅行で訪れた広島。「平和」をテーマにしたこの演劇で、自分たちが学び感じてきたことを、見ている人に伝えようと工夫を凝らして創った演劇、そして合唱はこの緑ジャージにしかできない本当に素晴らしいものでした。

3年生の残してくれたものが、1，2年生のあこがれとなって、これからも八田中の伝統として生き続ける、そう強く感じました。

口新人戦壮行会　八田Fire！

10月2日（金）に、新人戦の壮行会が行われました。1、2年生にとっては頼りになる3年生がいない初めての大会に向けて、不安や緊張もあったと思いますが、各部の決意表明や部長全員で行った選手宣誓からは、それを感じさせない力強い決意と熱い思いがみなぎっていました。

そして、その思いを支え、後押しする3年生を中心とした伝統の応援が、選手にどれだけ大きなパワーを与えたことか。八田中にしかできない素晴らしい壮行会となりました。保護者の皆様、地域の皆様も、生徒の頑張りを応援していただければありがたいです。





